

市民アンケート調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

ごみ減量・リサイクルの実態、市民の意識について把握し、現計画における施策の効果や、今後実施が求められる事項について整理します。また、集計・分析を行い、属性による違い・特性などを掴み、解決すべき課題の抽出を行います。

また、調査結果は、家庭系ごみ排出量の将来予測、ごみの減量目標値の設定及び目標値を達成するための施策検討の基礎資料とします。

(2) 調査対象、調査期間

川西市内在住の市民を対象とし、市ホームページのアンケートフォーム、スマートフォンを使って、市公式LINE内の「ごみ」メニューから回答する方法と、市役所及び各行政センターにアンケート用紙を設置する方法で実施しました。

なお、実施期間は以下のとおりです。

調査開始日	令和4年6月27日(月)
回答締切日	令和4年7月25日(月)

(3) 回収結果

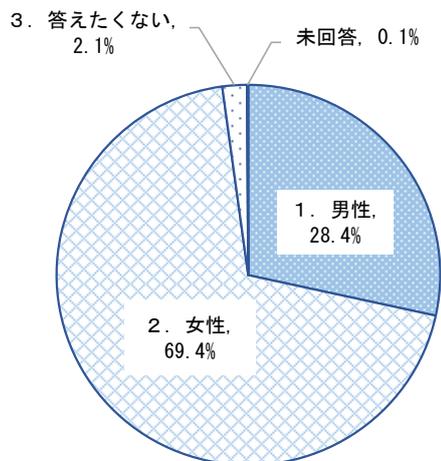
回答数：1,512件 ※うち66件は紙による回答

1. 集計結果 (※構成比の合計は四捨五入の関係で100%にならない場合があります。)

■性別

「2. 女性」が約69%、「1. 男性」が約28%となっています。

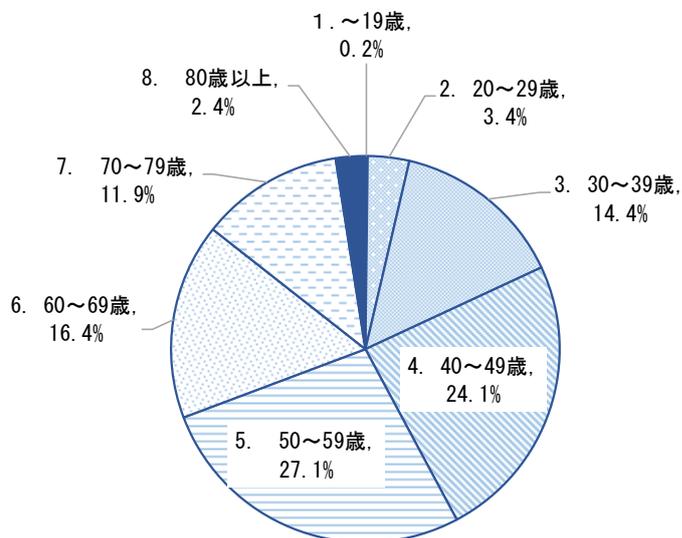
(人)	
	回答者数
1. 男性	430
2. 女性	1,049
3. 答えたくない	31
未回答	2
合計	1,512



■年齢

「5. 50～59歳」が約27%と最も多く、次いで「4. 40～49歳」が約24%、「6. 60～69歳」が約16%となっています。
60歳未満が全体の約69%を占めています。

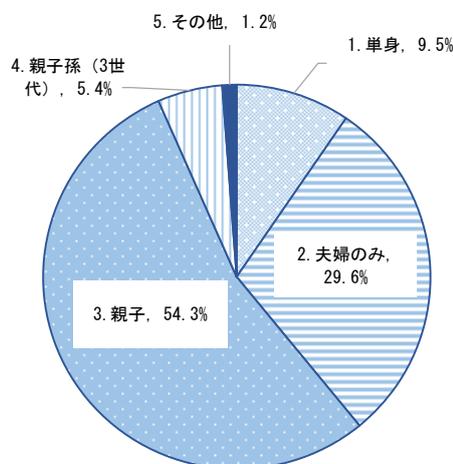
(人)	
	回答者数
1. ～19歳	3
2. 20～29歳	52
3. 30～39歳	218
4. 40～49歳	365
5. 50～59歳	409
6. 60～69歳	248
7. 70～79歳	180
8. 80歳以上	37
合計	1,512



■世帯構成

「3. 親子」が約54%と最も多く、次いで「2. 夫婦のみ」が約30%、「1. 単身」が約10%となっています。

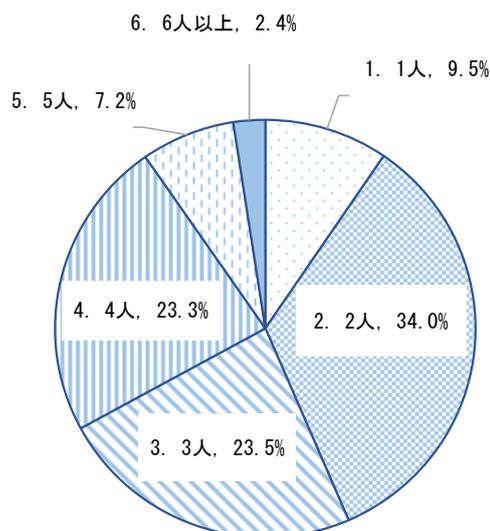
(人)	
	回答者数
1. 単身	144
2. 夫婦のみ	447
3. 親子	821
4. 親子孫 (3世代)	82
5. その他	18
合計	1,512



■世帯人数

「2. 2人」が約34%と最も多く、次いで「3. 3人」が約24%となっています。世帯人数3人以上が約56%を占めています。

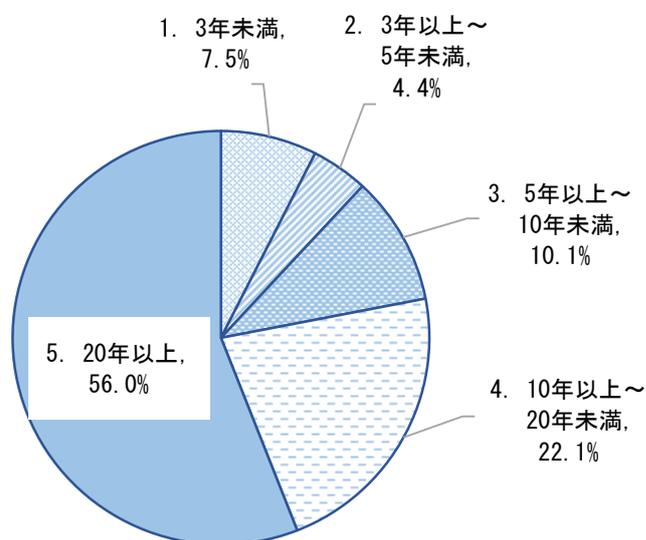
(人)	
	回答者数
1. 1人	144
2. 2人	514
3. 3人	356
4. 4人	352
5. 5人	109
6. 6人以上	37
合計	1,512



■居住年数 (※川西市内での居住年数)

「5. 20年以上」が約56%と最も多く、次いで「4. 10年以上～20年未満」が約22%、「3. 5年以上～10年未満」が約10%となっています。

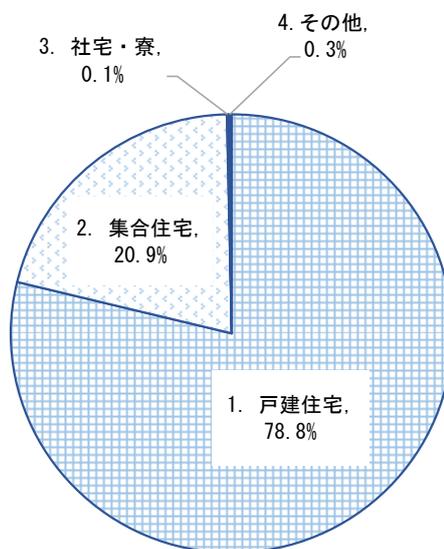
(人)	
	回答者数
1. 3年未満	113
2. 3年以上～5年未満	67
3. 5年以上～10年未満	152
4. 10年以上～20年未満	334
5. 20年以上	846
合計	1,512



■居住形態

「1. 戸建住宅」が約79%と最も多く、次いで「2. 集合住宅」が約21%となっています。「3. 社宅・寮」や「4. その他」はごくわずかです。

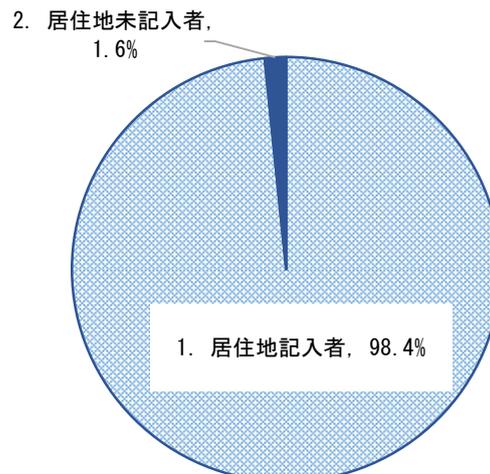
(人)	
	回答者数
1. 戸建住宅	1,191
2. 集合住宅	316
3. 社宅・寮	1
4. その他	4
合計	1,512



■現在の居住地

ほとんどが川西市内在住の方でしたが、一部、居住地が未記入の方がおられました。

(人)	
	回答者数
1. 居住地記入者	1,488
2. 居住地未記入者	24
合計	1,512



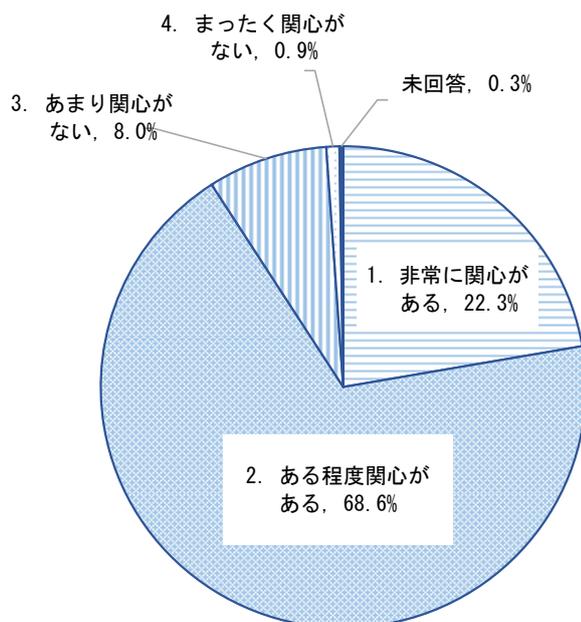
ごみの減量及びリサイクルについてお尋ねします

各設問をお読みになり、ご自身のお考えに近い答えの番号に○をつけてください。

問1 あなたはごみの減量やリサイクルにどの程度関心がありますか。(○は1つ)

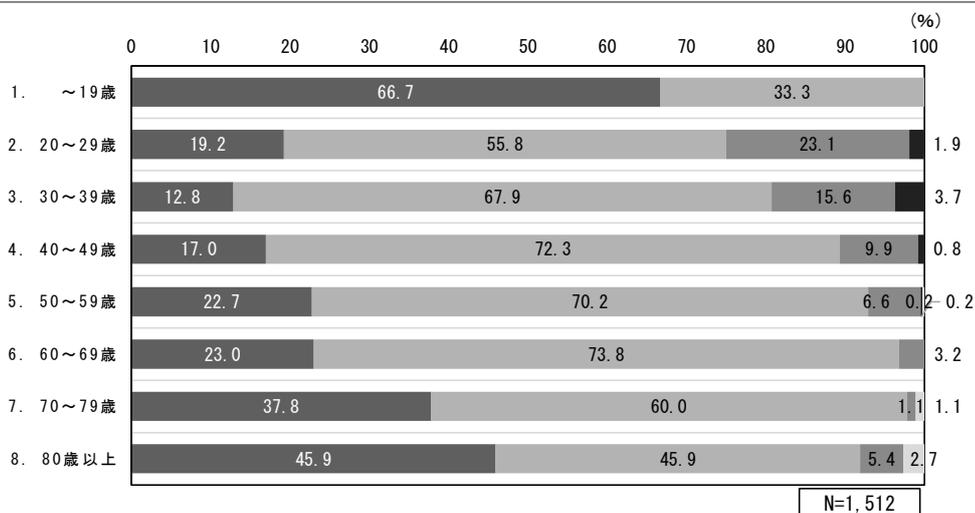
「1. 非常に関心がある」または「2. ある程度関心がある」が、約91%となっており、ほとんどの人が関心を持っていると考えられます。

(人)	
	回答者数
1. 非常に関心がある	337
2. ある程度関心がある	1,037
3. あまり関心がない	121
4. まったく関心がない	13
未回答	4
合計	1,512



<年齢別>

「1. 非常に興味がある」の割合は、回答数は非常に少ないものの「1. ～19歳」が高く、次いで「8. 80歳以上」となっており、「2. 20～29歳」、「3. 30～39歳」では低くなっています。全体としては、年齢層が上がるほど高くなる傾向がみられます。



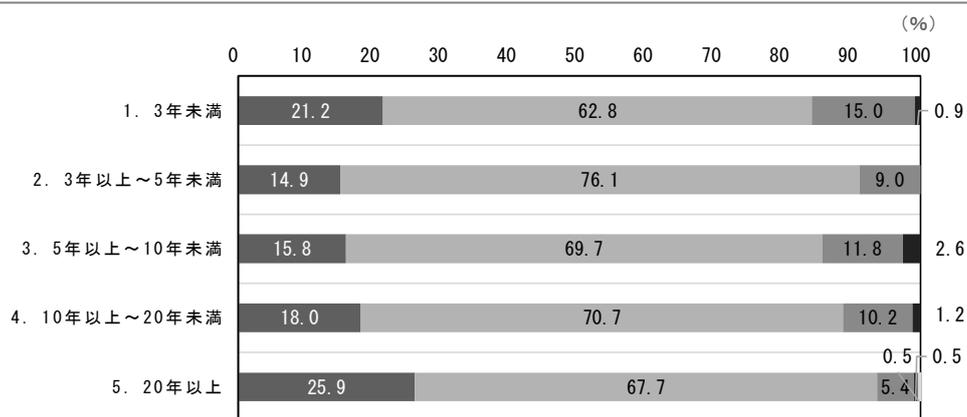
■1. 非常に興味がある ■2. ある程度興味がある ■3. あまり興味がない ■4. まったく興味がない ■未回答

(人)

	1. 非常に興味がある	2. ある程度興味がある	3. あまり興味がない	4. まったく興味がない	未回答	合計
1. ～19歳	2	1	0	0	0	3
2. 20～29歳	10	29	12	1	0	52
3. 30～39歳	28	148	34	8	0	218
4. 40～49歳	62	264	36	3	0	365
5. 50～59歳	93	287	27	1	1	409
6. 60～69歳	57	183	8	0	0	248
7. 70～79歳	68	108	2	0	2	180
8. 80歳以上	17	17	2	0	1	37
合計	337	1,037	121	13	4	1,512

<居住年数別>

「1. 非常に興味がある」の割合は、居住年数が「1. 3年未満」、または5年以上の年数が長いほど高くなる傾向がみられます。



■1. 非常に興味がある ■2. ある程度興味がある ■3. あまり興味がない ■4. まったく興味がない ■未回答

(人)

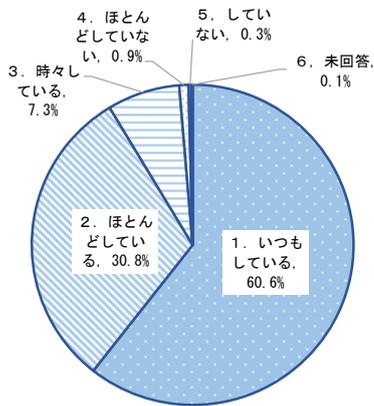
	1. 非常に興味がある	2. ある程度興味がある	3. あまり興味がない	4. まったく興味がない	未回答	合計
1. 3年未満	24	71	17	1	0	113
2. 3年以上～5年未満	10	51	6	0	0	67
3. 5年以上～10年未満	24	106	18	4	0	152
4. 10年以上～20年未満	60	236	34	4	0	334
5. 20年以上	219	573	46	4	4	846
合計	337	1,037	121	13	4	1,512

問2 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。

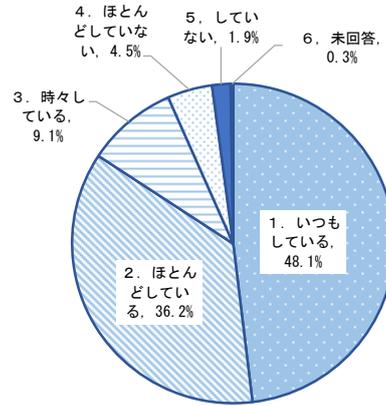
① から⑬の項目ごとにあてはまる番号1つに○をつけてください。

「④買い物時マイバッグを持参している」が約77%と最も多く、「2. ほとんどしている」、「3. 時々している」を含めると、約98%の方が実施しています。
 最も取り組みの割合が低いのは「③生ごみをたい肥化している」で、「2. ほとんどしていない」を含めると約91%の方が未実施となっています。

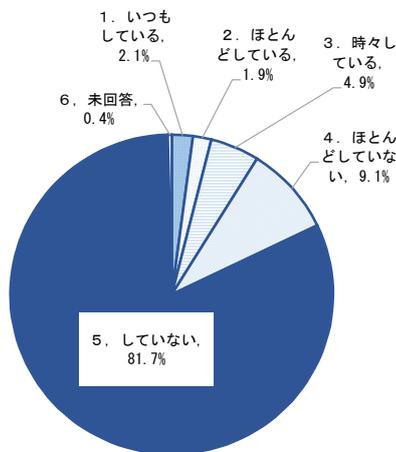
①ごみの分別をきちんとする



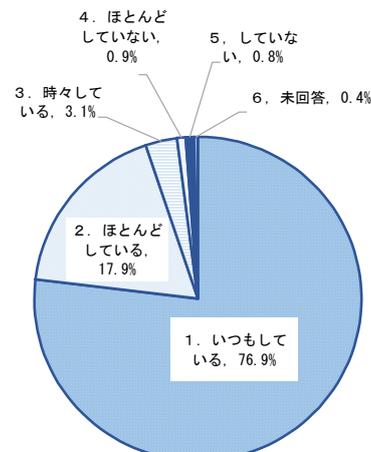
②生ごみは水気を切ってから出す



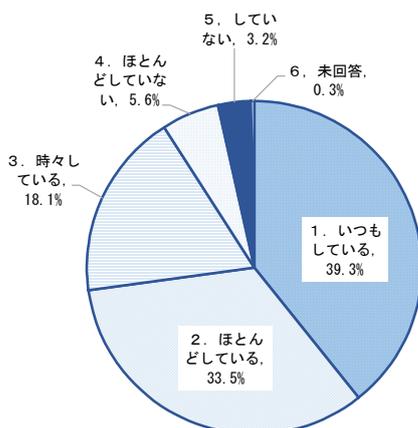
③生ごみをたい肥化している



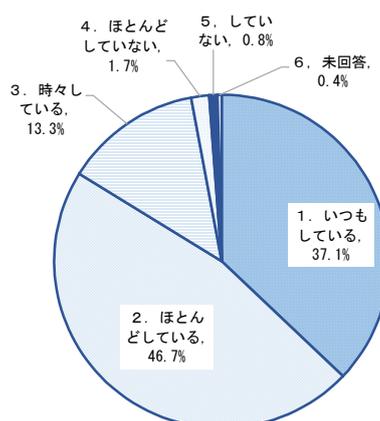
④買い物時マイバッグを持参している



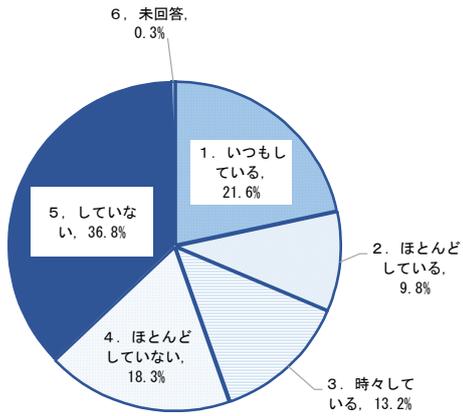
⑤余分な包装は断る



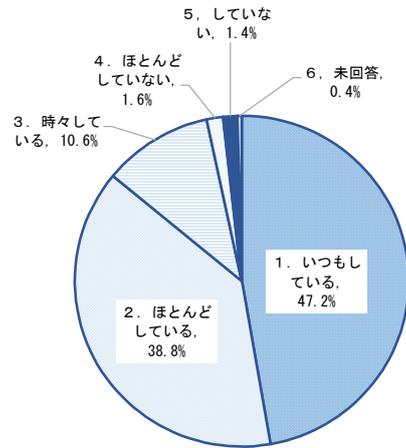
⑥食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする



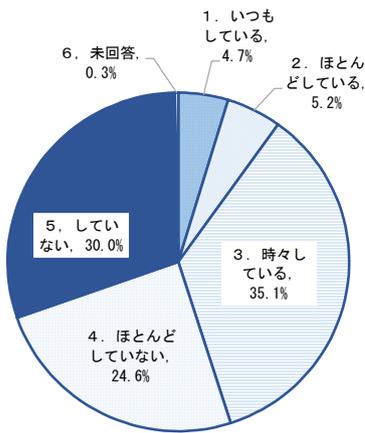
⑦トレイや、牛乳パックはスーパーなどのリサイクルBOXを利用している



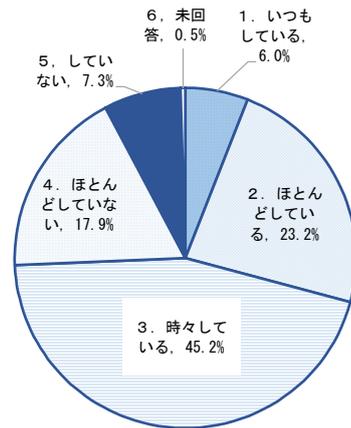
⑧詰め替えタイプの商品を選んで買っている



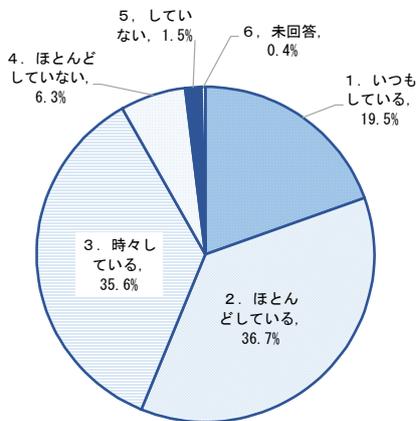
⑨フリーマーケットやリサイクルショップなどを利用する



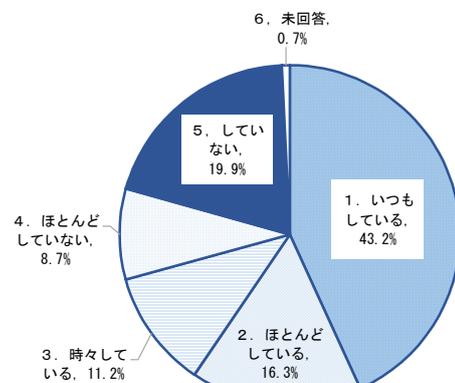
⑩使い捨て製品を買わないようにする



⑪修理をするなどして物を長く大切に使う



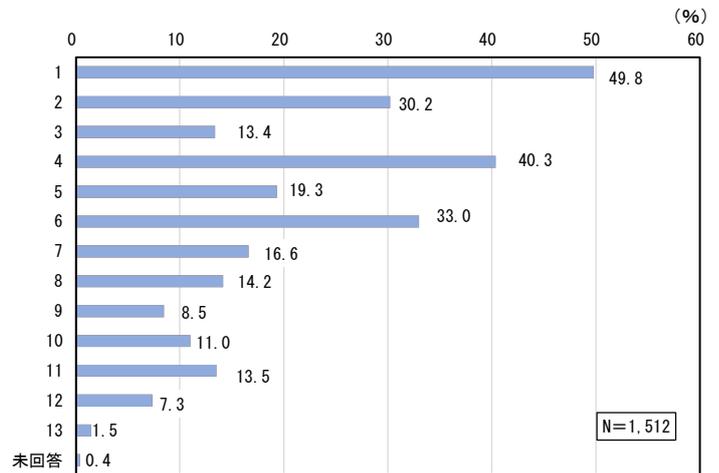
⑫集団回収に参加している



問3 ごみの減量やリサイクルについて、今以上にやってみようと思うことや簡単にできそうだと思うことはありますか。(〇は3つまで)
(※問2で「している」と答えた取り組みと重複しても結構です)

「1. ごみの分別をきちんとする」が約50%と最も多く、次に「4. 買い物時マイバッグを持参する」が約40%、「6. 食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする」が33%となっています。フリーマーケット・リサイクルショップの利用や集団回収への参加は低くなっています。

	(件) 回答数
1. ごみの分別をきちんとする	753
2. 生ごみは水気を切ってから出す	457
3. 生ごみをたい肥化する	202
4. 買い物時マイバッグを持参する	610
5. 余分な包装は断る	292
6. 食品の買い過ぎや食べ残しを減らし、食品を捨てないようにする	499
7. トレイや、牛乳パックはスーパーなどのリサイクルBOXを利用する	251
8. 詰め替えタイプの商品を選んで買うようにする	214
9. フリーマーケットやリサイクルショップを利用する	128
10. 使い捨て製品を買わないようにする	166
11. 修理をするなどして物を長く大切に使う	204
12. 集団回収に参加する	111
13. その他	22
未回答	6
合計	3,915



《「その他」の記述》

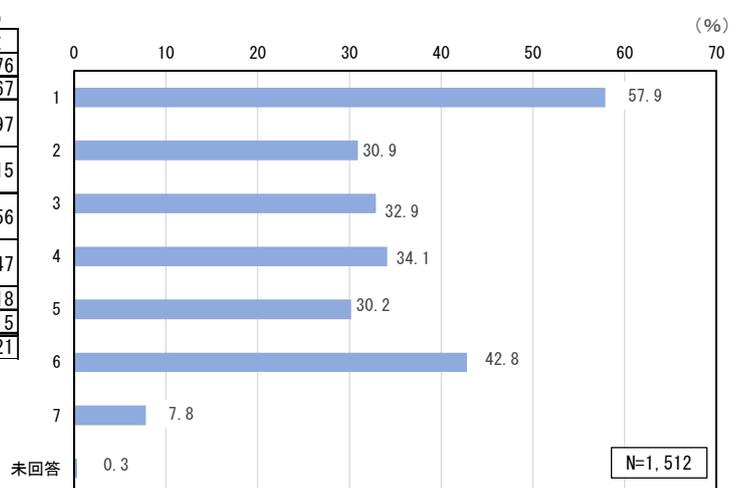
- ・今以上は出来ない
- ・着なくなった衣類はリサイクルショップに寄付をする

問4 ごみの減量やリサイクルが進まないなどごみ問題の大きな原因は何だと思いませんか。(〇は3つまで)

「1. ごみを排出する市民の意識」が約58%と最も多く、次いで「6. 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式が進んでいる」が約43%、「4. ポイ捨てや不法投棄に対する規制や対策が徹底されていない」が約34%となっています。

個人の意識が必要という意見と共に、行政への要望もありました。

	(件) 回答数
1. ごみを排出する市民の意識	876
2. 情報が十分に伝えられていない	467
3. 事業者のリユース(再使用)やリサイクル(再資源化)の取り組みが十分ではない	497
4. ポイ捨てや不法投棄に対する規制や対策が徹底されていない	515
5. メーカーや販売店など企業のごみ減量化への取り組みが十分ではない	456
6. 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活様式が進んでいる	647
7. その他	118
未回答	5
合計	5,421



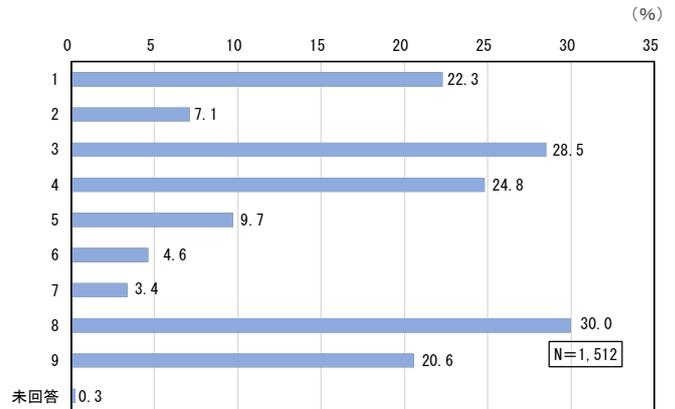
《「その他」の記述》

- ・リサイクルの仕組みが不透明
- ・市の取り組む姿勢が見えにくい
- ・分別が分かりにくい

問5 ごみの排出や減量に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「8. 特に困っていることはない」が約30%と最も多い一方で、「3. ごみの分別がわかりにくい」が約29%、「4. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない」が約25%となっています。

	(件) 回答数
1. ごみの排出日がわかりにくい	337
2. ごみステーションが遠い	108
3. ごみの分別がわかりにくい	431
4. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない	375
5. 集団回収を利用したいが、どのようにしたらよいか分からない	147
6. 国崎クリーンセンターの見学や講座に参加したいが、どのようにしたらよいか分からない	70
7. 問い合わせ先が分からない	51
8. 特に困っていることはない	453
9. その他	311
未回答	4
合計	2,287



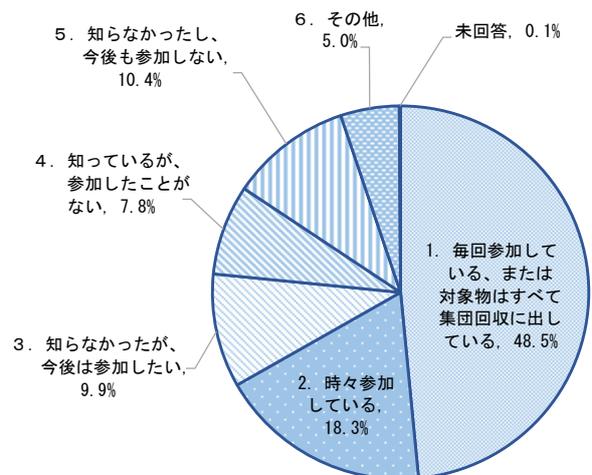
《「その他」の記述》

- ・ゴミの回収頻度が減って困っている (缶など)
- ・大型ゴミが出せなくなって、申し込みをして券も購入する手間がかかり、つつい億劫で出せないでいるもっと簡単なシステムにはならないだろうか?
- ・ゴミステーションがカラスに荒らされている場所がある

問6-1 地域で行われている古紙やアルミ缶など資源物の集団回収に参加していますか。(〇は1つ)

「1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している」が約49%と最も多く、「2. 時々参加している」と合わせると、約67%となります。「3. 知らなかったが、今後は参加したい」と回答した方は、約10%にとどまっています。

	(人) 回答者数
1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している	733
2. 時々参加している	276
3. 知らなかったが、今後は参加したい	149
4. 知っているが、参加したことがない	118
5. 知らなかったし、今後も参加しない	158
6. その他	76
未回答	2
合計	1,512

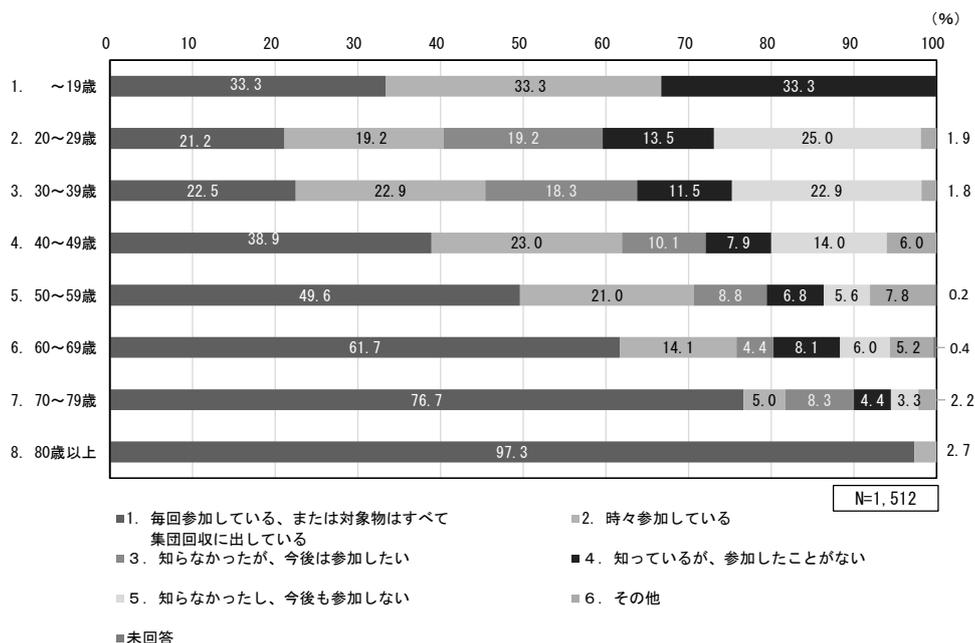


《「その他」の記述》

- ・地域ではしていない
- ・自治会が無くなった為、集団回収が無くなった
- ・子どもが小さいときは参加していた

<年齢別>

年齢が高くなるほど、集団回収に参加している割合が高くなる傾向がみられます。一方、「5. 知らなかったし、今後も参加しない」と回答した方は、若い年齢層ほど多くなっています。

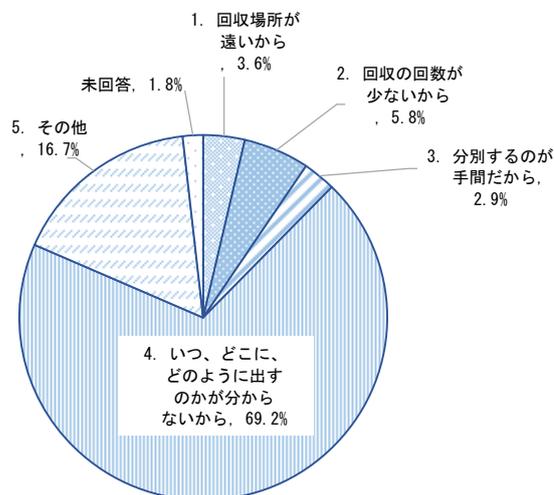


	1. 毎回参加している、または対象物はすべて集団回収に出している	2. 時々参加している	3. 知らなかったが、今後は参加したい	4. 知っているが、参加したことがない	5. 知らなかったし、今後も参加しない	6. その他	未回答	合計
1. ~19歳	1	1	0	1	0	0	0	3
2. 20~29歳	11	10	10	7	13	1	0	52
3. 30~39歳	49	50	40	25	50	4	0	218
4. 40~49歳	142	84	37	29	51	22	0	365
5. 50~59歳	203	86	36	28	23	32	1	409
6. 60~69歳	153	35	11	20	15	13	1	248
7. 70~79歳	138	9	15	8	6	4	0	180
8. 80歳以上	36	1	0	0	0	0	0	37
合計	733	276	149	118	158	76	2	1,512

問6-2 4、5に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(○は1つ)

集団回収に参加していない理由については、「4. いつ、どこに、どのように出すのが分からないから」が約70%と最も多く、次いで「2. 回収の回数が少ないから」が約6%となっています。

	回答者数
1. 回収場所が遠いから	10
2. 回収の回数が少ないから	16
3. 分別するのが手間だから	8
4. いつ、どこに、どのように出すのが分からないから	191
5. その他	46
未回答	5
合計	276

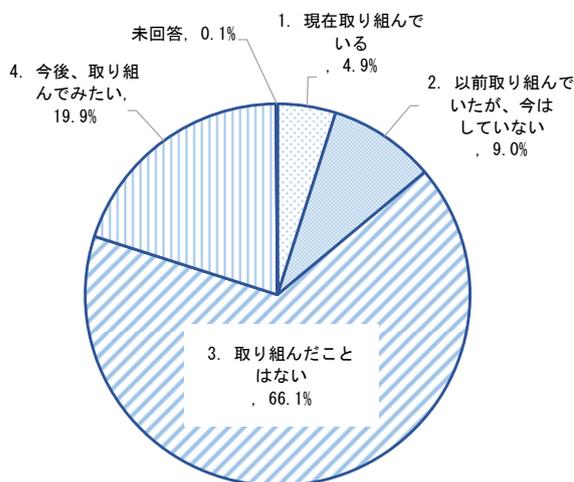


《「その他」の記述》
 ・市の回収で十分
 ・自治会に入っていない

問7 生ごみ処理機やコンポスト化容器などを利用して生ごみをたい肥化し、生ごみの減量化に取り組んだことはありますか。(〇は1つ)

「3. 取り組んだことはない」が約66%と最も多く、「1. 現在取り組んでいる」のは約5%となっています。また、「4. 今後取り組んでみたい」が約20%となっています。

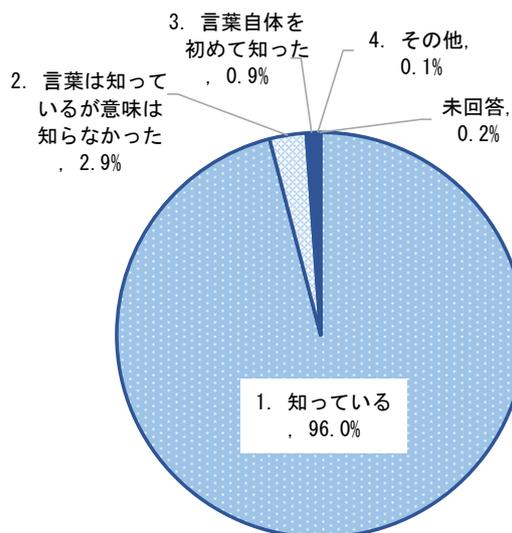
	(人) 回答者数
1. 現在取り組んでいる	74
2. 以前取り組んでいたが、今はしていない	136
3. 取り組んだことはない	999
4. 今後、取り組んでみたい	301
未回答	2
合計	1,512



問8-1 近年、食品ロス（本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）を削減するため、行政・事業者においても様々な取り組みが進められています。「食品ロス」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「1. 知っている」が96%でほとんどを占めています。

	(人) 回答者数
1. 知っている	1,451
2. 言葉は知っているが意味は知らなかった	44
3. 言葉自体を初めて知った	13
4. その他	1
未回答	3
合計	1,512

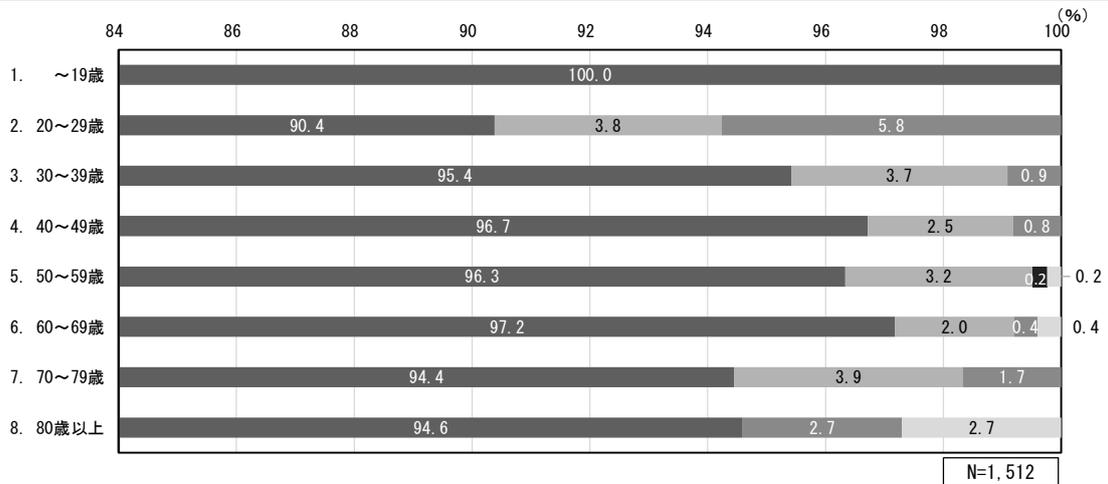


《「その他」の記述》

- ・賞味期限の近いものから買う

<年齢別>

すべての年齢層で「1. 知っている」が90%を超えています。



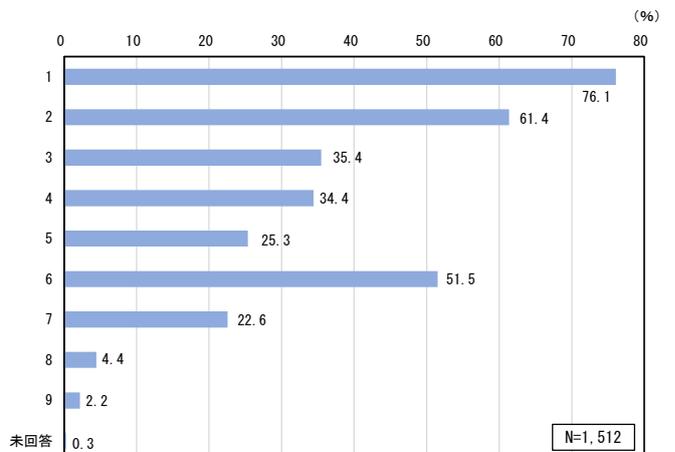
■1. 知っている ■2. 言葉は知っているが意味は知らなかった ■3. 言葉自体を初めて知った ■4. その他 ■未回答 (人)

	1. 知っている	2. 言葉は知っているが意味は知らなかった	3. 言葉自体を初めて知った	4. その他	未回答	合計
1. ~19歳	3	0	0	0	0	3
2. 20~29歳	47	2	3	0	0	52
3. 30~39歳	208	8	2	0	0	218
4. 40~49歳	353	9	3	0	0	365
5. 50~59歳	394	13	0	1	1	409
6. 60~69歳	241	5	1	0	1	248
7. 70~79歳	170	7	3	0	0	180
8. 80歳以上	35	0	1	0	1	37
合計	1,451	44	13	1	3	1,512

問8-2 食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「1. 食べきれない食品を買い過ぎない」が約76%最も多く、次いで「2. 買い物前に食品の在庫を確認する」が約61%、「6. 外食時は食べられる量を注文する」が約52%となっています。近年注目が高まっている「8. 食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する」は約4%にとどまっています。

	(件) 回答数
1. 食べきれない食品を買い過ぎない	1,151
2. 買い物前に食品の在庫を確認する	928
3. 長持ちする保存方法を調べて、保存する	536
4. インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る	520
5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する(使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ)	383
6. 外食時は食べられる量を注文する	779
7. 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ(てまえどり)	341
8. 食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する	67
9. その他	33
未回答	4
合計	4,742



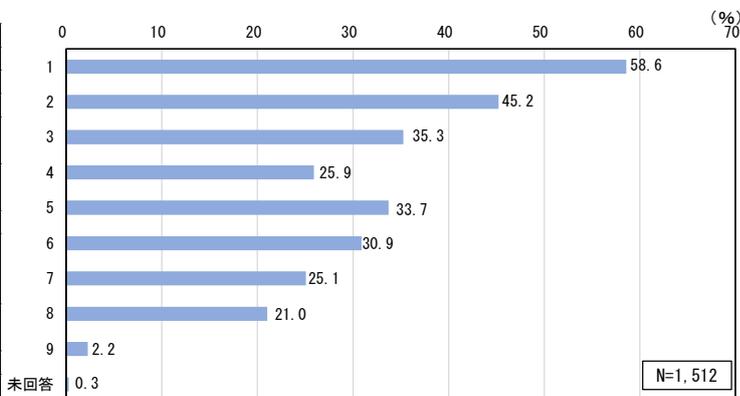
《「その他」の記述》

- ・意識していない
- ・賞味期限が近づいて安くなったものを買う
- ・こまめに買い物に行く

問8-3 食品ロスの削減に関する様々な取り組みのうち、取り組みたいものはありますか。
(〇はいくつでも)

「1. 食べきれない食品を買い過ぎない」が約59%と最も多く、次いで「2. 買い物前に食品の在庫を確認する」が約45%、「5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する（使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ）」が約34%となっています。

	(件) 回答数
1. 食べきれない食品を買い過ぎない	886
2. 買い物前に食品の在庫を確認する	684
3. 長持ちする保存方法を調べて、保存する	533
4. インターネットなどでレシピを検索し、食材を使い切る	392
5. 冷蔵庫の中などの配置方法を工夫する（使い忘れや食べ忘れなどを防ぐ）	510
6. 外食時は食べきれぬ量を注文する	467
7. 購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、販売期限の近い商品を選ぶ（てまえどり）	379
8. 食べきれない食品をフードドライブ・フードバンクなどへ寄付する	318
9. その他	34
未回答	4
合計	4,207



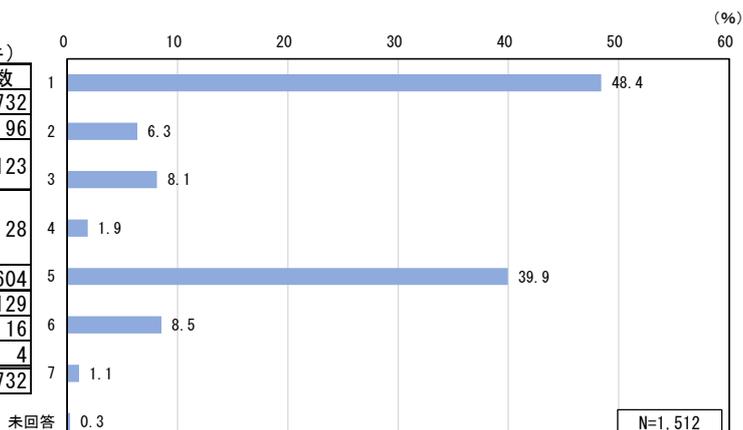
《「その他」の記述》

- ・作り置き冷凍
- ・安いからといって買わない
- ・ミールキットの活用

問9 国崎クリーンセンターを利用されたことはありますか。(〇はいくつでも)

「1. 国崎クリーンセンターに行ったことがある」が約48%と最も多い一方で、「5. 国崎クリーンセンターに行ったことがない」が40%、「6. 国崎クリーンセンターを知らない」が約9%となっています。

	(件) 回答数
1. 国崎クリーンセンターに行ったことがある	732
2. 国崎クリーンセンターの見学会に参加した	96
3. 国崎クリーンセンターで行われたイベントに参加した	123
4. 地域の自治会等で開催された市のまちづくり出前講座で国崎クリーンセンターを見学した	28
5. 国崎クリーンセンターに行ったことがない	604
6. 国崎クリーンセンターを知らない	129
7. その他	16
未回答	4
合計	1,732

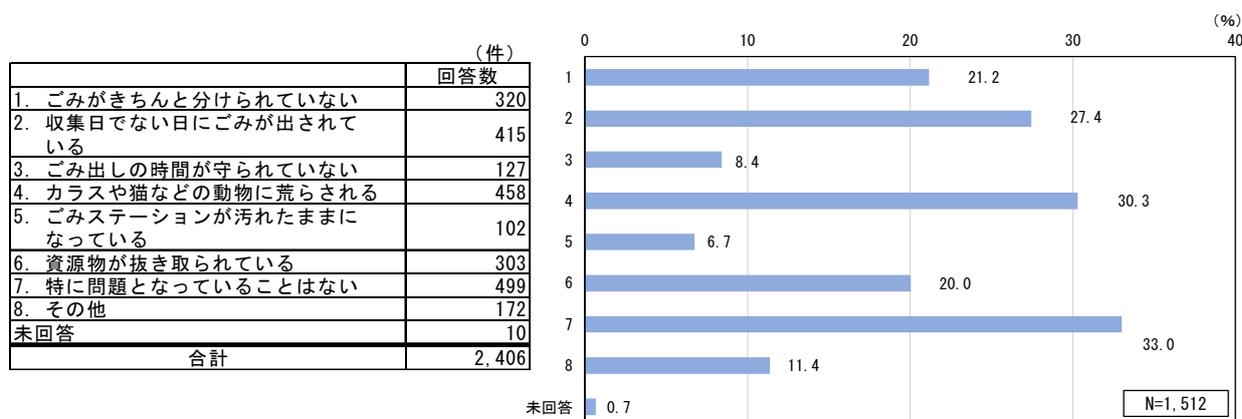


《「その他」の記述》

- ・車がないので定期バスを出してほしい
- ・行き方がわからない

問 10 地域のごみステーションで問題となっていることはありますか。(〇はいくつでも)

「7. 特に問題となっていることはない」が約33%と最も多い一方、「4. カラスや猫などの動物に荒らされる」が約30%、「2. 収集日でない日にごみが出されている」が約27%となっています。

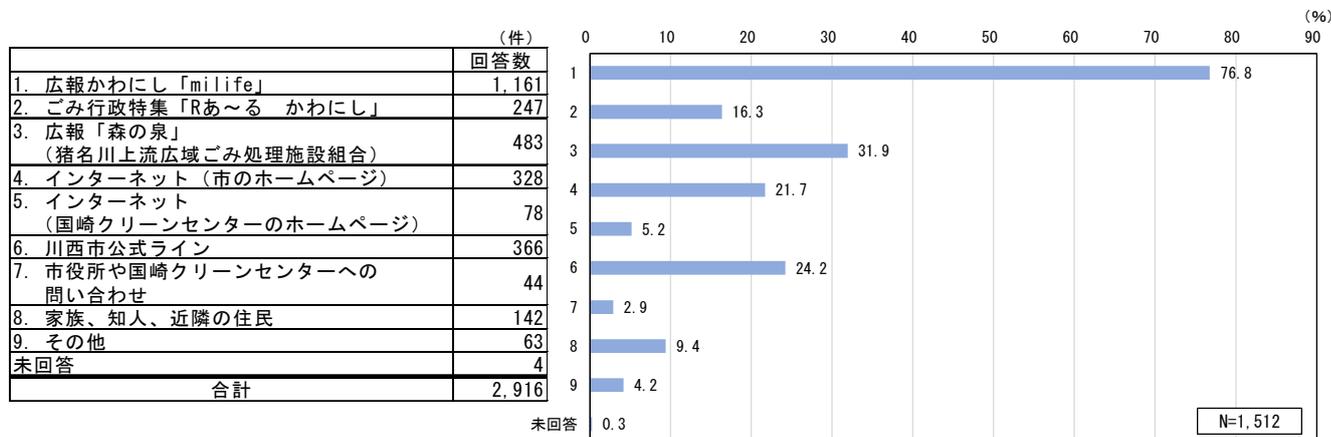


《「その他」の記述》

- ・他の地域からの持ち込み
- ・大型ごみの不法投棄
- ・ごみネットをかけない

問 11 ごみの減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

「1. 広報かわにし『milife』」が約77%と最も多く、次いで「3. 広報「森の泉」」が約32%、「6. 川西市公式ライン」が約24%となっています。



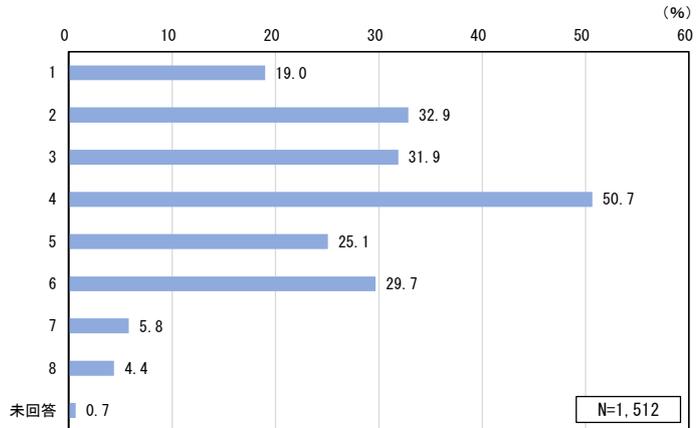
《「その他」の記述》

- ・自治会から
- ・メディア

問 12 ごみやリサイクル等に関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。
(〇は3つまで)

「4. 分かりにくいごみの分別の種類」が約 51%と最も多く、次いで「2. ごみや資源物のゆくえ」が約 33%、「3. ごみの処理にかかる費用」が約 32%となっています。

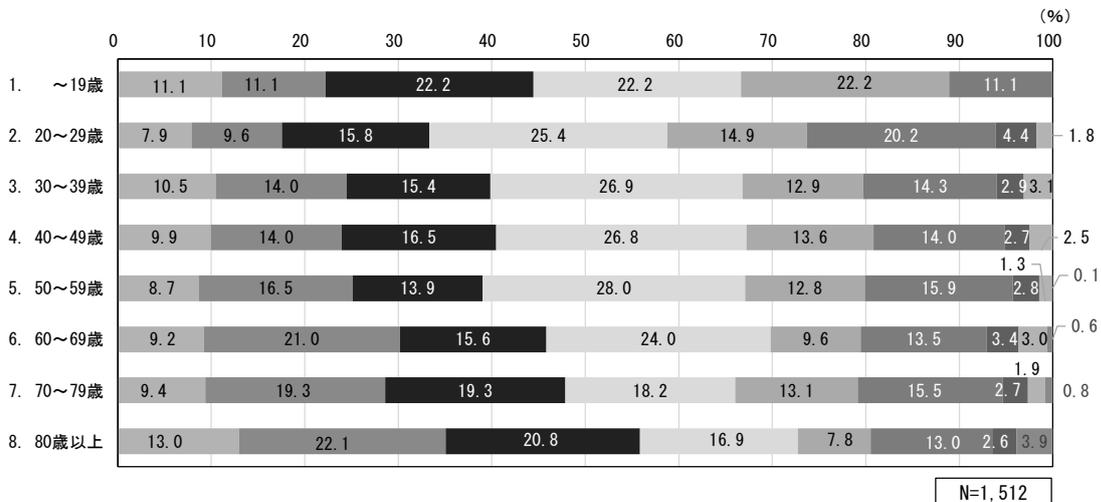
	(件) 回答数
1. ごみや資源物の量の推移	287
2. ごみや資源物のゆくえ	497
3. ごみの処理にかかる費用	482
4. 分かりにくいごみの分別の種類	766
5. 市の助成制度	379
6. 資源物を店頭回収したり、環境にやさしい商品を取り扱う店舗	449
7. ごみ処理やリサイクルに関する法律	88
8. その他	66
未回答	10
合計	3,024



《「その他」の記述》
 ・リサイクル方法
 ・分別したごみがどうなっているのか

<年齢別>

年齢別では、30～69歳で「4. 分かりにくいごみの分別の種類」が多くなっています。



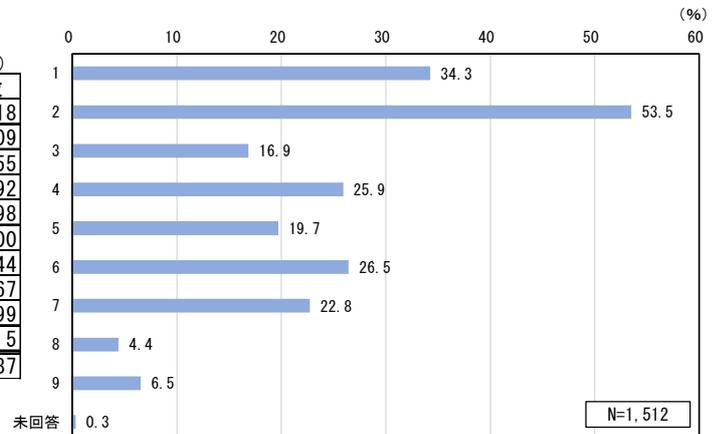
- 1. ごみや資源物の量の推移
- 2. ごみや資源物のゆくえ
- 3. ごみの処理にかかる費用
- 4. 分かりにくいごみの分別の種類
- 5. 市の助成制度
- 6. 資源物を店頭回収したり、環境にやさしい商品を取り扱う店舗
- 7. ごみ処理やリサイクルに関する法律
- 8. その他
- 未回答

	1. ごみや資源物の量の推移	2. ごみや資源物のゆくえ	3. ごみの処理にかかる費用	4. 分かりにくいごみの分別の種類	5. 市の助成制度	6. 資源物を店頭回収したり、環境にやさしい商品を取り扱う店舗	7. ごみ処理やリサイクルに関する法律	8. その他	未回答	合計
1. ～19歳	1	1	2	2	2	1	0	0	0	9
2. 20～29歳	9	11	18	29	17	23	5	2	0	114
3. 30～39歳	47	63	69	121	58	64	13	14	0	449
4. 40～49歳	71	100	118	191	97	100	19	18	0	714
5. 50～59歳	71	135	114	230	105	130	23	11	1	820
6. 60～69歳	43	98	73	112	45	63	16	14	3	467
7. 70～79歳	35	72	72	68	49	58	10	7	3	374
8. 80歳以上	10	17	16	13	6	10	2	0	3	77
合計	287	497	482	766	379	449	88	66	10	3,024

問 13 ごみの減量やリサイクルを進めていくうえで、取組を促進するためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「2. ごみやリサイクルに関する情報提供の充実」が約 54%と最も多く、次いで「1. ごみの分別をさらに徹底するための啓発」が約 34%となっています。問 12 のもっと知りたい情報の回答と同じく、ごみの分別やリサイクルに対する情報が必要だと感じている方が多いことが分かります。

	(件) 回答数
1. ごみの分別をさらに徹底するための啓発	518
2. ごみやリサイクルに関する情報提供の充実	809
3. ごみ問題を学習する機会の提供	255
4. ごみ問題に関する学校教育の充実	392
5. 集団回収への積極的な参加の促進	298
6. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発	400
7. リユースの取り組みの強化	344
8. 家庭ごみ(燃やすごみ)収集の有料化	67
9. その他	99
未回答	5
合計	3,187



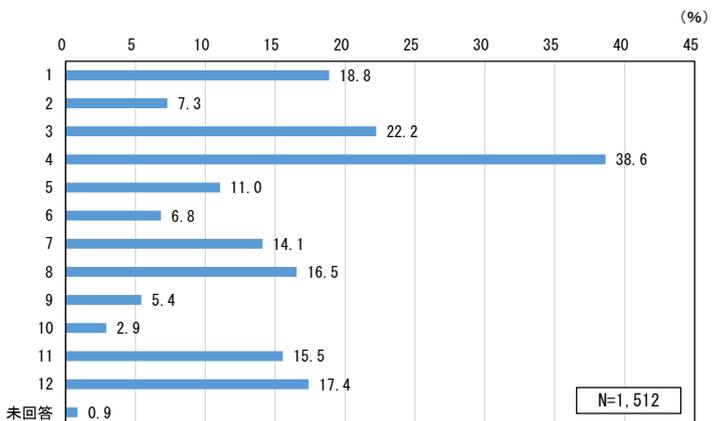
《「その他」の記述》

- ・不法投棄の罰則についての周知
- ・問題の原因究明及びその情報提供

問 14 市が行っているごみの施策について、知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

「4. ごみ行政特集「Rあ〜るかわにし」の発行」が約 39%と最も多く、次いで「3. 剪定枝粉碎機貸出事業」が約 22%、「1. 再生資源集団回収奨励金制度」が約 19%となっています。一方、「10. 啓発パネル展の実施」は約 3%、「9. 家庭ごみ量速報」は約 5%にとどまっています。

	(件) 回答数
1. 再生資源集団回収奨励金制度	285
2. 市から排出される機密文書などのリサイクル事業	110
3. 剪定枝粉碎機貸出事業	336
4. ごみ行政特集「Rあ〜るかわにし」の発行	584
5. まちづくり出前講座「ごみ減量出前講座」の開催	167
6. 子ども向けごみ学習会の開催	103
7. 子ども服リユース事業「ふくれル」	213
8. 川西市食べ残しゼロ運動	250
9. 家庭ごみ量速報	82
10. 「啓発パネル展」の実施	44
11. サポート収集(高齢者、障がい者の戸別収集)	235
12. その他	263
未回答	13
合計	2,685



《「その他」の記述》

- ・ごみ分別アプリ、キッズ「り・ぼ・ん」など
- ・全部/どれも知らない
- ・ほとんど/あまり知らない

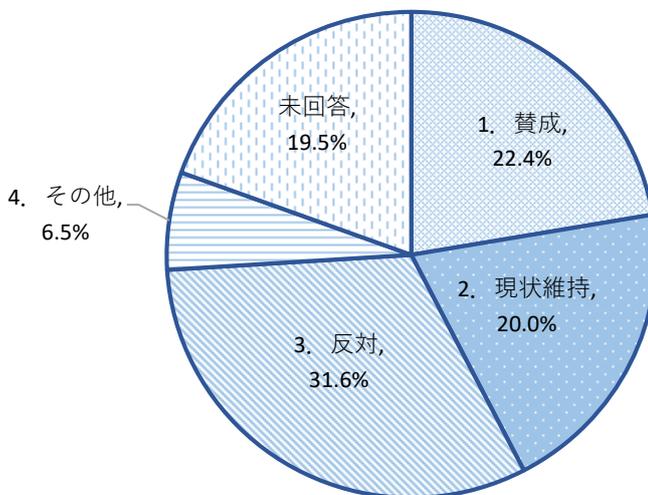
問 15 現在、川西市ではごみ処理費用（大型ごみは除く）は全額税金によってまかなわれていますが、国全体の施策の方針として「ごみ処理の有料化」（ごみの排出量の多い人が多く負担する）の推進が示されています。

全国では、各家庭から出る可燃ごみ、不燃ごみの量に応じて処理料金をごみ袋の金額に上乗せして、支払う仕組み「ごみ袋の有料化制度」を取り入れている自治体があります。

ごみ処理費用の負担（ごみ袋の有料化）について、どう思われますか。ご意見をお聞かせください。

「3. 反対」が約 32%と最も多く、「2. 現状維持」が約 20%で、全体の約 52%が有料化には賛成ではなく、一方、「1. 賛成」の回答は、約 22%となっています。

(人)	
	回答数
1. 賛成	338
2. 現状維持	303
3. 反対	478
4. その他	98
未回答	295
合計	1,512



記述内容（問 15 ごみ袋の有料化「1.賛成」のご意見・抜粋）

エコバッグを使う様になって、かえってゴミ出し用の袋を買う事態になっている。環境に配慮したビニール袋は割高なので、それなら指定の袋を買う方が良いかなと思う。もちろん、環境に配慮した材質のもので。ただし、非課税世帯への無料配布等はアリで。

有料化する事でゴミの減量、リサイクルが促進されるなら賛成。但し不法投棄やルールを守らない人への対策を固める必要がある。

市の一財だけで賄うと、排出量の差による負担比率の不公平さが気になります。受益者負担にすることで、ゴミを多く出す人がきちんと負担する仕組みづくりが必要だと思います。

有料化というときよっとする市民も多いと思うが、元々税金で処理しているものが表面化するだけである事を丁寧に説明して、有料化への英断をして下さい！悪い印象にばかりとられず、ごみ減量頑張った人は経済的にも報われるよ という事をアピールして下さい。

他市もゴミ袋を有料化しているところは多いので川西市も有料化するのは致し方ないと思う。しかし、寝たきりの高齢者や障害者が在宅で居て、紙オムツゴミなどが多く出る家庭などには助成金が出るなどの補助が必要かと思う。

以前は有料化していた地域に住んでいたし、そもそも半透明のゴミ袋は購入して使用しているので、それが有料化の物になっても（今よりも高くなったとしても）構わないと考えている。

滋賀県はほぼ全域がゴミ袋有料。ゴミ処理にかかる費用を、ゴミ袋有料で支払うお金を回す事が可能になる。有料にすればゴミの搬出量を減らそうとする人が増え、回収スタッフの負担も少しは減るのではないかと思う。

基本的には、賛成だが、何を基準にゴミの有料化を進めるのかということが課題です。例えば、ゴミ袋を市指定の有料袋にするのか。そうなった場合、市販のゴミ袋は売れなくなるが、それで良いのか。不法投棄が増えないかなど。様々な問題があるので、既に実施している自治体から色々と情報を得て、川西市らしい取り組みを進めて欲しいです。

ゴミ袋を購入、有料化は必須でしょうね、神戸や尼崎で働いてますが、それをこ移入数だけで違いはあります。それと見える化が必要です。テレビCMのように何度もやれば、意識改革になります。余談ですが、兵庫県の横断歩道での一旦停止はここ数年で確実に上がってます、それは、ネットのおかげです。兵庫県では右折信号をかなり多く作りました、交差点事故が数年前より激減してます。意識と抑制は必須だと感じます。まずは見せる戦略を

以前住んでいた所がそのような取り組みをしていました。最初はとまどいましたが、慣れてくるとごみを減らしたりコンパクトにごみ袋に入れることができるようになりました。

有料化というと拒否感を持つ市民も多いと思うが、元々税金で賄っていた費用が表面化するだけであることを丁寧に説明して下さい。そしてマイナスのイメージばかりでなくごみ減量を頑張った人は費用面でお得になるということ进行全面に打ち出して、有料化へと英断を期待しています。

プラスチックのみ指定の有料ゴミ袋にすれば良い。まとめて出す工夫をしても不衛生にならない。ゴミ袋は小さめにしたい。指定の袋が大きすぎるとゴミ減量につながらない。

ゴミ袋の有料化については、ゴミを出す量が多い人が、ゴミ処理費用をより負担するというのは理にかなっている部分もあると思います。でも、双子などの赤ちゃん、小さいお子さんのいる家庭や介護をしている家庭では、オムツゴミなどがどうしても多くなります。意図してゴミを減らせない場合のゴミ袋有料化の負担を考えると、あまり高いゴミ袋になると困るのではないのでしょうか。あるいはそれぞれの事情を考慮して対応していく必要があると思います。

記述内容（問 15 ごみ袋の有料化「2.現状維持」のご意見・抜粋）

以前、ゴミ袋有料の市町村に住んでいましたが、かえってゴミ処理が面倒になり利便性が損なわれたように感じます。現状のままの方が効率的だと感じます。

たくさん出す人が払うのは理解できるが、今もちゃんとやってるのに、有料化されるのは物価高で辛い。2重税金の気がする。

現在が無料(ゴミ袋の金額もかかっていない)ので、ゴミ袋も有料になり排出量によって処理金額の上乗せを行う、と言われてもまだ現実的ではなくピンとこない。国の方針であるなら後々有料化するのもしょうがないと思うが、まずゴミ袋を有料化→処理金額の上乗せ、と段階的に対応してほしいなと思う。

ゴミ袋有料化自体は理解するが、光熱費、食材他生活費がどんどん高騰するのに、年金は下がり、給与は上がりずで厳しすぎる。賃貸相場も高い。その辺りの総合的な改善がなされれば賛成する。

ゴミ袋に関しては現状でも袋を購入しているので個人的には問題ないと思ってます。しかし有料ゴミ袋が名前を記入する物だと、分別の仕方が分からない人は不法にゴミ出しをする事になりそうなので、トラブルがあるのでは?とってしまいます。

無料で処理してもらえるのはありがたいが、ごみ処理費用が増幅するようなら有料化は致し方なし。しかし子育て世代(おむつなどの廃棄)が多い世帯には無償配布するべき。他の自治体もそのようにしているところもある。

こちらでいいと思います。どちらかといえば反対寄りですが、有料化すると今度は不法投棄が増えて、それが生ゴミならカラスがつつくなどして不衛生、また火事など不審火の原因にもなるのでこのままか反対です。ゴミ袋の有料化もごみの量は減らないで家計への負担が増えるだけだからやめた方がいいと思う。

ゴミの問題は消費者のみに頼らず企業にも協力する必要がある

もっと分析し、情報を市民に公開した上で判断したほうが良い。

有料化は不法投棄を招く。不法投棄でなくても、駅や商業施設のゴミ箱に捨てるケースが増えると思う。ゴミの排出量は家計の支出にある程度比例すると思われ、すなわち収入にも比例することになると思う。消費税や所得比例の税金での負担が望ましい。

実際に、ゴミの分別や回収がどの程度成功、あるいは、失敗しているか、データをどのように評価されているか知りたい。有料化すれば、意識も進むだろうが、それなら、今より便利に捨てられるようにしてほしい。

ゴミを有料化したぶん税金が減るとは思えない。母子家庭にとって有料化は更に負担が増えるだけ。なので現状維持でいい

袋を購入できる方ばかりではないのと もし有料化該当決まり違う袋で出された場合 高齢者が多く住む地域では ゴミのネットを出すだけでも骨折のリスクも高く危険なのに 規定外の袋で出したゴミの処理をしないといけなくなるので 個々の家の前にゴミを出せる様になってから有料化は考えていただきたいです。

お金がかからないことがありがたいですが、有料化になるなら仕方ないとも思います。ただ、丁寧な説明は必要ですね。

有料化でゴミを出しにくくするよりウォーターステーションを設置するなどしてペットボトル消費を減らすなどの取り組みをすべき

記述内容（問 15 ごみ袋の有料化「3.反対」のご意見・抜粋）

何をもってごみの排出量が多いと判断するのか疑問です。家庭の状況世帯人数や介護などで排出が多くなってしまふなどそういった点が配慮されるのか。一律のルールでさらに負担にならないよう、多角点な視点で考えて頂きたいです。

ゴミ袋有料化には断固反対。不法投棄が増える恐れがある。それよりも市民全体でリサイクルに取り組みゴミを減量して、全国の手本になるような施策をする方が、川西市の良さをアピールできるので良いと思う。ゴミ袋の有料化は安易すぎる。

いろんなものの値段が上がり生活が苦しい中、さらにゴミまで有料になるのは厳しすぎる。食べざかりの子供もいるので、ゴミの量が多くなってしまふため、金額も高くなりそうで反対。

反対！介護をしてるとオムツなどのゴミが増えるのは当たり前のこと。介護で大変なうえに更にゴミ袋を有料にするのであれば、きちんと、介護者への優遇など検討してからにしてほしい！

欄をまちがえました。絶対に反対です。ゴミは生活していく上で絶対に出る物です。それを処理するのに個人では解決できるものではないので公的な施設で処理する必要があります。人が移動するとき道路が必要なように。そのために税金を払って公的機関に委ねています。その上にまた有料にすると、税金は何のために納めているのが原点に立ち返って考えて貰いたいです。

生活に絶対必要なゴミ処理は税金で賄うべきものである。そのために税金を納めている。

小さい子がいるとオムツなどどうしてもかさばるゴミが有料になると大変。小さい子供はよく熱を出したりして、今の時代コロナの検査結果が出るまで親は仕事を休まないといけませんが、濃厚接触者には何の保証もないので、経済的に厳しく子育てしにくい時代だなと感じている。高校なども私立に行かせると、実質無償化ではないので大変。やはり、貧困の連鎖はなかなかたちきれない気がする。スウェーデンのように、医療や教育が平等に受けられるようにならないと、子供を育てていくのは大変です。なのでごみ処理費用の負担は反対です。

ビニール袋の有料化により、以前よりゴミ袋を購入している人が多いと思う。そのため、有料化になったところで、そこまでゴミの量が劇的に減るとは思えない。将来的には有料化されるんだろうな、とは思っているけれど、家族数やライフスタイルによってゴミの量は差があると思うので、ゴミ袋の大きさが何種類かあってほしい。

子供や扶養人数が多い家庭はオムツや生ゴミの量が多くなるため、有料袋だとさらに家計を苦しめる。逆にゴミの量が少ない家庭は袋にゴミが溜まるまでに時間がかかり、時間が経った生ゴミ等は臭いや不衛生さが増す。袋が破れたり穴が空いたときに二重にするとコストがかかるため、破れたままゴミが出される可能性もあり不衛生。ゴミのなかでも、プラスチックと紙類の量が生ゴミよりも多く、かさ張るため簡単に圧縮したり粉碎できるような方法の発信や機器などの貸出があればありがたい。生ゴミの有料袋は賛成だが、その他の資源ごみは有料袋反対。

まずは市民に現状などの情報提供と、問題点や改善点などを知らせてもらえたらと思う。そのあとで袋の有料化にしてほしい。

何のために市民は税金を支払っているのでしょうか。有料化することで、ゴミの投棄が増えます。現に自宅前の公園では老若男女問わず放棄しています。それを清掃してゴミに出すのは近隣の住民です。他人が投棄したゴミにお金を更に出さないといけなのですか？残念ですが投棄して行く人は大勢います。自宅周辺の衛生と防犯の為に掃除をせざるを得ない状況です。

ゴミ捨てるためだけに袋を作るなんて非エコと感じる。今でも何らかの袋に入れて捨てているのだから袋の費用負担はしているはず。袋のゴミを増やすだけ。やめてほしい。また、きちんとゴミ捨てるおと金がかかると思うと不法投棄をする人が増えたり、極力袋を買わずに済むように袋にパンパンに詰めすぎて口が縛られてなかって破れたりしてカラスの被害が増えたりと、良くない想像がされる。カラスの被害増加は、実際に知り合いの住む自治体であったようです。

商品をおる側への規制が先ではないでしょうか。例えば川西阪急で買物をするともとても丁寧に包装してくれますが、それらは全部ゴミになるわけで、それを購入者側の負担にするのはおかしいと思います。過剰包装は断ればよいという話ではなくそもそも提供側の責任だと思ひます。他にも、商品のパッケージ自体ももっと簡素化するなど、企業側の努力を求めるのが先だと思ひます。

記述内容（問 15 ごみ袋の有料化「4.その他」のご意見・抜粋）
対症療法的な取り組みでなく、深く検討されたものを提示するべき。安易に他市の真似の提示だけでは川西市が泣く、行政は問題に汗をかき、改善に取り組んで欲しい。
有料化がいいと考えているが、金銭的負担を市民に課すなら、大阪府箕面市のように分別を緩めるべき（箕面市はプラスチックやペットボトルは燃えるゴミ。種類も燃えるゴミ、金属ゴミ、カン、ビン、粗大ゴミと種類も少なくわかりやすい。）ただ有料化する、というだけなら反対です。
2袋目から有料などの仕組みが減量の意識に繋がるのではないかと思ひます。
大企業からとるべき。生活困窮者をこれ以上追い詰めてはいけない。ゴミに限ったことではないが、。
有料化することのメリットが分からないので、詳しく教えてください。このアンケートの内容からは分かりませんでした。
どうやって課税額に差をつけるのかわからないので、賛成も反対も言えない
ただ有料にするのではなく、資金使い方を市民にとって有用でなくては増税と変わらない。何にお金が必要になるのか明確にしてからにして欲しい。
有料化にして可燃ゴミが減るとは思えない。そもそもゴミになるような不要な物が多すぎる。物を大切にしていた昭和の主婦の方たちにアイデアを出して頂くのがいいのでは。計り売りや個数売り、大歓迎です。
ゴミの有料化は、ゴミを減らすためには有効だと思ひます。ゴミを有料化するなら、回収方法も全戸回収とするなど、サービスの向上も行ってほしいです。我が家では成人した子供たちも、夫婦ともフルタイムで仕事をしているため、100メートルほど離れたゴミステーションにゴミを捨てることや、当番制のゴミステーションの片付けなどは負担が大きいと感じています。皆が安心して働けることで、納税もできるのではないのでしょうか？
ごみ袋有料化によりどれだけ市の税金が軽減されるのか？
行政として必要性の有無を明確にし取り組むべきであり、他がやってるからやるというのでは、行政不信を抱く。
多く排出している人の理由の有無が関わると思ひます。単に多だけか、世帯の人数が多いのか、赤ちゃんのいる家庭なども多そうだし、無差別にするのはどうなのかなと思ひ点があります。しかし、申請すれば免除されたりする制度などあればいいのではないかなと考えました。
一定量のゴミ処理は自治体の税金で賄われるべき事業と思ひます。ただし、生活スタイルによって排出量が大きく違う大型ゴミなどは別とする、今の市のやり方は理解できます。

ごみ袋を有料化するというはその分の税金が浮くということ。ならば、その浮いた税金が何に使われているのかをキチンと明示されるのであれば賛成。明示出来ないなら実質的にただの増税と変わらないので現状維持が妥当と思う。

ゴミの量は各家庭の構成や事情で異なる。家族の人数が多ければゴミの量も増えます。同じ人数でも介護するものがいれば、オムツや紙パンツの処理などでゴミの量も増えます。この場合、介護や家計の負担が増えます。ゴミ袋は購入していますが、少しでも家計の助けになるように安価で購入するよう努力しています。

ごみ減量・リサイクルについてのご意見などをご自由にお書きください。(抜粋)

記述内容
減量・リサイクルについて、やる人はやる(意欲的に取り組む)のと反対に、無関心な人も多いと思います。”一部の人が知っている、行っている”ではなく、市全体として川西のごみについて考える人が増えるような広報、取組みを望みます。そのためにも、ごみ問題全体を俯瞰した案内だけでなく、ごみ目線<そのゴミどこへ行くの?>図、イラストで流れを説明(川西のごみに関して、よりくわしく)ヒト主観<小学生の見学感想><ごみ収集作業員さんから一言>店(地域)単位の情報発信<ショップ案内・オリジナルエコバック有ります!>などがあってもおもしろいと思います。
大型スーパーなどトレイがゴミになる傾向があるが店内でそのゴミを捨てて帰る人がいるのでただゴミを削減するのを進めるのは良くない、リサイクルしたらポイントがたまりなにかしらのキックバックがあればみんなやると思う
空き缶やお菓子の小袋のポイ捨てが目につく。タバコのポイ捨てが殆ど無くなったように、時間は掛かるが道徳啓蒙活動等で地道な市民へのPR活動が必要ではないか。
有料ゴミ袋化は、10リットル袋が最小サイズだと単身で減量化に努力するとゴミが貯まらなくて捨てられない。100%有料ではなく、もえるゴミ市民一人あたり週5リットルは無料、それ以上は袋購入等検討するなら有料化賛成。使わなかった袋は期限付けて、粗大ゴミシールや燃えないゴミ袋交換可能などにして欲しい
プラスチックごみを出す時、全部あらうのか?少しでも汚れてたら、燃えるゴミなのか?細かい境界線がわかりません。わからない時は洗ってプラに分別してますが、毎回洗えてないです。面倒な時はそのまま燃えるゴミに分別してます、自分でも徹底出来ていないと思っている所です。分別方法でそういう細かい指示?があれば助かります。
どこかの自治体で、廃棄油のリサイクルを行っていることを聞きました。中には、使い終わった油を排水溝に捨てる人もいるかもしれないので、廃棄油をリサイクルできれば環境にもよいと思います。川西市も廃棄油のリサイクルがあればよいなと思います。
ごみ処理に関わる皆さまに感謝します。今やごみの問題は自然好きという感情論やボランティア意識では解決できない深刻なレベルに達していると思います。子供達の未来のためにも資源について考えることが出来るごみ減量に真剣に取り組まなければならないと思います。全ての市民が理解出来るような啓蒙はなかなか困難だと思いますがよろしくお願いします。
子供も大人も楽しんでリサイクルするために、例えばアルミ缶を入れるとスロットが回せる回収機など設置したらいい。当たれば、今後有料化する予定のゴミ袋をプレゼントなど上手く回していくといいと思う。
森の泉を時々読みますが、きちんと分別を頑張っている人から見ると、ちゃんとやっってるのに全然できてませんよねと言われているような印象をたまに受けます。それだけマナーの悪い人が多いということなのでしょうが、頑張っている人もたくさんいると思いますので、そういう人たちへの労いの一言も記事に添えて下さればと思います。

<p>広報にゴミ収集日の記載が無くなるなど、いわゆるガラケーしか持っていないインターネットもできない高齢者にとって不利益な状況になっている。分別リサイクルに取り組んでいる高齢者にもわかりやすく情報を得やすいようにしていただきたい</p>
<p>最近、フェルトのbagを使ったコンポストをはじめたが、キッチンでも匂わず、場所もとらず、続けられている。屋外コンポストだけで無くキッチンに置けるものを紹介したらもっとコンポストが広がるのではないかな？</p>
<p>ゴミの回収や処理など、日々ありがとうございます。ゴミ袋が有料になればゴミの削減になると思いますが、紙オムツなどは別の袋を市から配布してもらえると子育て世帯や介護世帯は負担が少なくなると思います。</p>
<p>役目を終えたベビー用品を回収し、必要な世帯に渡す様にするのはどうか。ベビー用品は使用時期が短い、価格が高いため買わずにもらえたら助かるし、それなりに場所を取ることでリサイクルできたらありがたいと思う。保健センターなどで母子手帳を交付される際や、教室などで保健センターに行く際に実物を見て持ち帰れたら良いと思う。</p>
<p>最近のLINEによるゴミの通達は、とても良い施策です。但し、隔週になっている物は捨てないといけない時に通達してほしい。未だに第〇週がわかっていない人もいますので、不親切。</p>
<p>自分のことだけしか考えずに戸別収集の実施を希望している方がおられるようだが、戸別収集の実施は効率が悪くなる以上、経費が掛かることは明らかである。市内全体をみれば、狭隘道路など物理的に戸別収集ができない地域がある中、一部の地域の戸別収集のために市として多額の経費を費やすことはいかかなものか。燃やすごみ等の有料化は進めるべきであるが、戸別収集は実施するべきではないと考える。</p>
<p>神戸から川西に引っ越してきたばかりであり他地域のルールは分からないのですがゴミの日にネットを出す当番制になってますが、ごみが回収された後にネットを回収しに行くというのは共働き世帯が増えている時代に沿っていないと感じました。</p>
<p>ゴミを減らすならまずペットボトルとリサイクルするものを無くして紙パックや缶のみにすべき。リサイクルはする人、しない人、してもちゃんとルールに則ってなければゴミになるし、手間ばかりかかってその工賃がまた必要となるから、昔に立ち戻って紙パックや缶ですればいいと思う。分別も簡単なら誰でも出来るし。</p>
<p>大ゴミが有料なのはしょうがないとして、予約が取れる日がかかり先になった。缶、瓶も資源なら収集日を減らしてほしい。ラインでゴミの日の連絡を貰っているが瓶、缶の日が分かりづらい。何週目の何曜日、ならその日の前日にラインがほしい。違う週にまとめてきている。</p>
<p>いつも気になるのが、歩きタバコです。通勤時のサラリーマンが、歩きタバコをし、吸い殻を道路でなく、最明寺川にポイ捨てしてる人がいますコンビニで買った商品を、たべ歩きしてゴミを、落とす人もいます。ポイ捨てに、関しては川西池田駅南側～最明寺側周辺は特に、歩きタバコポイ捨て禁止に、してください。罰金制度も必要だと思います。</p>
<p>いつもありがとうございます。私は自然が好きでごみに関心を持ちましたが、今やボランティア精神や感情論では済まない程ごみ問題は深刻です。未来の子供に資源を残すためにも多少強引な手法であっても行政が舵取りをする必要があると思います。市民への啓蒙はご苦労が多いと思いますがよろしくをお願いします。</p>
<p>現在ライン登録していて、便利さを感じる。一人当たりどのくらい、ゴミを出し、どのくらい税金を使っているか、何が問題かをデータを、ラインで送り考えたり、協力を求めたりしながら状況を見てほしい。それでも改善されなければ、有料化も仕方ないがあくまで最後の手段にしてほしい。</p>
<p>①商品の梱包等に回収しにくいプラスチックが多用されています。製造、販売業者に使い捨て容器等はリサイクルしやすい材質を使用するよう規制する方が良いと思います。②環境破壊を促進しないため、二酸化炭素排出削減が必要です。産業廃棄物を含め焼却処分するゴミを無くせないか再検討が必要だと思います。</p>

<p>最近、テレビとネットで漫才をしている人で清掃の仕事をされて、ごみ処理の問題点について発信している人がおられます。学校教育に丸投げするのは良くないですが、その人の配信内容や取り組み、周りの人(同業者の人たち)の行動が変わったーという話に納得させられました。清掃のお仕事についての認識も子どもたちから正しくして欲しいと思います。</p>
<p>焼却しなかったゴミはどうなるのか、など自分の手から離れたゴミがどうなっているのか、市民や、子供達が、知る機会を増やして欲しいと思います。捨てればあとはお任せになっているので、ゴミが減らないのでは?とおもいます</p>
<p>収集日が「第〇曜日」ではわかりづらいです。以前のように地区ごとに日付を明記してほしいです。市のラインはとてもありがたいですが、収集がない日にも「第〇曜日」と送られてくるのがまぎらわしいです。「明日」回収の場合だけ送っていただきたいです。ぜひよろしくおねがいいたします。(一度送ったのですが、受信できなくて、また書かせていただきました・・・)</p>
<p>意識醸成のための啓発と行動変容について、取り組み易いようにエコポイントを PayPay ポイントで付与するなどインセンティブが必要だと思えます。</p>
<p>ゴミステーション方式は仕事を持っているものには不便な方式だ専業主婦ありきの方式収集後の片付けや掃除は帰宅後暗くなってから他人のゴミを片付けるのは納得いかない有料でもよいので出したときに支払うので各家庭収集にしてほしい家どうしが離れていれば他の自治体では各家で集めている古いしきたりに頼りすぎる</p>